

京都伝統文化の森推進協議会

シンポジウム

千年都市京都 人と森のつながり

日時 平成27年2月19日(木)

午後6時30分～午後9時30分

場所 キャンパスプラザ京都
第3会議室(4階)

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939
京都市営地下鉄烏丸線, 近鉄京都線, JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

第1部 基調講演

山折 哲雄 京都伝統文化の森推進協議会 相談役(前会長)
宗教学者



第2部 パネルディスカッション

コーディネーター

鎌田 東二 京都伝統文化の森推進協議会 会長, 文化的価値発信専門委員長
京都大学こころの未来研究センター教授

パネリスト

山折 哲雄

原田 憲一 京都伝統文化の森推進協議会 副会長, 文化的価値発信委員
至誠館大学学長代行

梶川 敏夫 京都伝統文化の森推進協議会 文化的価値発信委員
京都市埋蔵文化財研究所次長, 京都市考古資料館館長

高桑 進 京都伝統文化の森推進協議会 理事, 森林整備・景観対策専門委員長
京都女子大学名誉教授

高田 研一 京都伝統文化の森推進協議会 森林整備・景観対策専門委員
NPO法人森林再生支援センター常務理事

(主催) 京都伝統文化の森推進協議会, 京都市

(共催) 木の文化を具体化する推進会議

(後援) 京都大学こころの未来研究センター, 京都新聞,

エフエム京都, KBS京都,

NHK京都放送局(予定)

平成27年1月発行 京都市印刷物第264846号

京都市産業観光局農林振興室林業振興課

参加費
無料

先着
170名



除伐作業後の様子 (H26)



拡大するシイ林(黄色部分, H26)



地域に自生している樹から採取し, 採取場所と採種月日等の履歴が確かな苗木(地域性苗木)を使っています。H25年度は, モチツツジやザイフリボクなど8種を植えました。

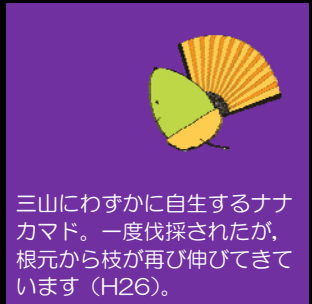


コナラの稚樹 (H26)



京都東山に眠る遺跡巡りを開催しました (H26)。

傾斜のきつい山林内に緩やかな歩道を新たに整備しました (H26)。利用された方々から, 歩きやすくなったと好評です。



三山にわずかに自生するナナカマド。一度伐採されたが, 根元から枝が再び伸びてきています (H26)。



千年都市京都 人と森のつながり

千年を超える歴史都市・京都の周りは森に囲まれています。そのうち東山の森は、以前は明るいアカマツ林の下でコバノミツバツジ等が咲き揃い、地域の人々が、それらの枝葉を燃料として採取することで維持されてきましたが、燃料革命以降、その採取もほとんどなくなってしまったため、常緑樹が勢力を伸ばす暗い森になりつつあります。

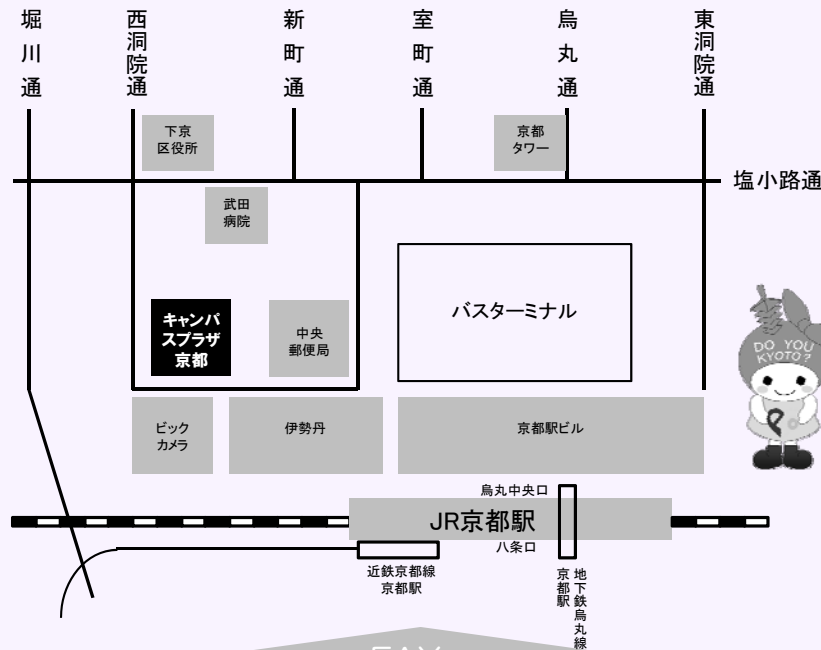
こうした課題に取り組もうと平成19年に東山を舞台として、学識者、地域関係者、行政などが連携し、京都伝統文化の森推進協議会が発足しました。

この度、当協議会がこれまで取り組んできた森林整備や文化的価値発信の活動を踏まえ、これからの人と森とのつながりや新たな活動を探るためのシンポジウムを開催します。

事務局 京都市産業観光局農林振興室林業振興課 内
TEL:075-222-3346

申込み FAX又はEメールで、開催日、氏名、電話番号を御記入のうえ、平成27年2月17日(火)までに公益財団法人 京都市森林文化協会(山村都市交流の森内)まで。TEL:075-746-0439 火曜日定休

周辺マップ



FAX

075-746-0134

公益財団法人 京都市森林文化協会 宛
〒601-1103 京都市左京区花背八樹町250
Eメール: moriwo-mamorou@kyoto-dentoubunkanomor i. jp

所属	
氏名	
電話番号	
FAX	
E-mail	

伝文キャラ「京だらぼっち」

京都の森の問題を共に解決していこう!



常緑樹を切ることで林内を明るくするための作業をする市民参加者 (H26)

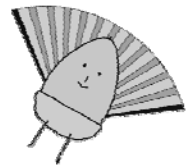


林相改善事業によって伐採されたシイに生える天然のシイタケ (H26)。林相改善事業は、H19年度から継続しています。



ごみ拾いもしています (H26)。

京都の森について共に考えよう!



伝文キャラ「くーりん」

大きくなり過ぎたシイを伐って薪を作る活動をしています。(H26)



シイの実を煎って食べるとクリのような味がします。

